



地域がわかる・学ぶ・楽しむ

### 城山エコミュージアムのつどい

「まちまるごと博物館」城山エコミュージアム委員会の活動紹介と、皆様と一緒に学び楽しむ「講演会」を行います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

参加者募集!

日時：令和5年2月12日(日)13時30分～16時(受付：13時～)



会場：城山公民館大会議室 (緑区久保沢2-26-1)

内容：①活動紹介 ②事例紹介「向原ってどんなところ？」ガイドツアー

③講演「相模原のみち」～大山みちを中心に～

講師 加藤 隆志氏(相模原市立博物館学芸員)

定員：40名(申込先着順)

申込方法：令和5年1月25日(水)午前9時 申込受付開始

城山公民館窓口または電話でお申し込みください。

※月曜および祝日の翌日を除いた午前9時～午後5時

主催：城山公民館 主管：城山エコミュージアム委員会

問合せ：城山公民館 TEL 042-783-8194

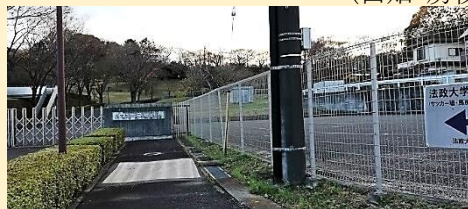
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては事業を中止する場合があります。

参加費無料

### 城山探訪

#### 「風間遺跡群」

法政大学多摩キャンパス城山地区(グラウンド・馬場)の開発に際し4区に分けて発掘調査され、第1・第4地区は神奈川県教育庁、旧城山町教育委員会の指導の下、縄文時代、中世以降の遺構が、その下の立川ローム層中に2層の先土器時代の文化層が確認され、多数の石器類が出土しました。 出典：法政大学HP、城山風土記 城山町史編さん委員会(田畑 房枝)



風間バス停前の法政大学城山校地

### 城山検定 解説

答え

#### 1. 原宿自治会館



この石像は、原宿自治会館の敷地内にあります。江戸時代のころ、大山(伊勢原市)信仰が庶民の間で盛んとなり、江戸をはじめ、各地から雨乞いや家内安全・商売繁盛を求めて大山を目指し、大山道が開かれました。石像の左側には「小くら船場道」とあります。その昔、多くの人々が、ここから大山みちを下り、小倉の相模川の渡船場へ向かったことでしょう。この不動尊は原宿、小倉、荒川の3地区の人達によって安永9年(1780)に建てられています。

出典：エコミュージアムのみち 大山みちのご案内(長久保 梓)

### 編集後記

今年は卯年。うさぎは飛び跳ねるところから長引くコロナ禍からそろそろ脱出して飛躍する一年になって欲しいものです。

私達も地域の宝物を再発見し、楽しく活動が出来る事を願っています。

(塩谷 弘道)

企画/作成：

相模原市立城山公民館城山エコミュージアム委員会

発行：相模原市立城山公民館

TEL：042-783-8194【直通】

FAX：042-783-1721



ホームページをパソコンで見るとは

相模原市 城山エコミュージアム

検索

相模原市立城山公民館ホームページ <http://www.sagamihara-kng.ed.jp/kouminkan/shiroyama-k/index.html>

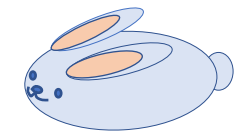
# 城山エコミュージアム通信

令和5年(2023)1月15日 第43号

エコミュージアムとは、エコロジー(生態学)とミュージアム(博物館)を合わせた造語で、その地域そのものが、生きた貴重な資料であるという考え方の下に、地域の歴史や文化、自然について学び、地域への愛着を深め、交流を深めていく活動です。



## 今年の干支は卯年 ～武相観音霊場御開帳～



武相観音霊場は12年ごと卯年の春(4月)、御開帳(御開扉)されることから「卯年観音」と呼ばれています。武蔵国、八王子市・日野市・多摩市・町田市と相模国、横浜市・相模原市・大和市の四十八か所の札所で構成される霊場です。「卯年観音」は、宝暦9年(1759)の開創以来今年で23回目です。境内に5色の布で飾られた回向柱が立ち、布は観音様に繋がっています。回向柱の布に触れると観音様と結縁ができるといわれています。

城山地区には第二十五番札所の「金剛山普門寺」(中沢)、第三十八番札所「大悲山慈眼寺」(都井沢)、境を接する大戸には第二十四番札所「祐照庵大戸観音堂」があります。



大戸観音堂

#### <祐照庵大戸観音堂>

上相原村は、鎌倉街道山之道、横山庄の相州口として大戸番所があったことからこの地は大戸と呼ばれた。かたわらにあった草庵の境内に慶長元年(1596)観音堂が創立され、大戸の観音様と呼ばれ賑わった。現在の観音様は天明年間(1781～1789)佐藤安八郎が水田より観音像を発掘し、堂内に安置したものといわれている。 出典：大戸観音堂板書



普門寺観音堂

#### <金剛山普門寺>

第二十五番札所に数えられる普門寺の木造聖観音菩薩立像は平安時代後期、藤原様式の作品で像高105cm。観音堂内の安永5年(1776)造の宮殿型厨子の中に祀られている。

普門寺は天平年間(729～749)に行基によって創立されたと伝わる古刹で、本尊は不動明王。裏山には飯縄大権現を祀る飯縄権現堂がある。 出典：普門寺HP、城山町史6通史編近世



慈眼寺

#### <大悲山慈眼寺>

地域の人からは「都井沢の観音様」と呼ばれ親しまれている。安産祈願で有名。現在も安産を願って底を綴じない袋を観音堂に吊るす風習が残っている。 出典：エコミュージアムの径・都畑・中沢コースのご案内。

画像は2011年4月に撮影した「卯年観音」の様子。

(田畑 房枝)



今回のトピック ■特集「武相観音霊場御開帳」 ■活動報告「エコミュージアムツアー向原ってどんなところ？」他 ■しろやまミニ図鑑「千両万両有り通し」 ■城山検定 ■インフォメーション「つどい」のお知らせ ■城山探訪「風間遺跡群」

活動レポート 「令和4年度城山エコミュージアムツアー」開催



日時 令和4年10月23日（日）9：00～12：00

テーマ：向原ってどんなところ？

行程：城山総合事務所・鎌倉みち起点・赤坂・向原畑地灌漑水路跡・山野・通水記念碑・川尻中村遺跡・高橋家の門・城山総合事務所

参加者13名、スタッフ10名、主に60歳代、70歳代の参加者でしたが、天気が良く気持ちよく歩くことが出来ました。田名原面といわれる段丘の台地にある向原地区の畑地、住宅地の間を歩きながら昔この台地で耕作するために利用した灌漑用水路跡や、相模原段丘からの大雨による災害を防ぐための側溝、堰き止め板などこの土地ならではの様子を見ることが出来ました。

相模川流域沿いに左岸茅ヶ崎柳島処理場までの下水道事業が行われ、平成元年に城山下水道が通水された記念碑も見ることが出来ました。



通水記念碑

さらには縄文時代中期の川尻中村遺跡が発見されています。現在は公園になっていますが、日当たりがよく見晴らしの良いところです。

この遺跡から先が段丘崖になり相模川になります。遠くは丹沢山地、近くは相模川と圏央道相模原インターの立体高架道路、ここでしか見られない景色がありました。



昔、利用した灌漑用水路と厚手の側溝蓋



向原からの城山と眼下に見える新小倉橋



高橋家の門

高橋家の門は、八王子千人隊千人頭のひとりの屋敷にあった門という事ですが、その門が高橋家の門になった経緯についてご当主の高橋氏から説明がありました。興味深く拝聴しました。

地元の方のお話や、耕作地周辺の生活道路を直に歩き身体で向原を感じることが出来たように思います。参加された方のアンケートを見ると、皆さん満足して帰られたようです。私自身も満足しました。（土屋 宗平）

城山検定

問題

この石像（大山 石尊大権現 大聖不動明王）は、大山（伊勢原市）への道しるべ、大山道標です。さて、この石像は、どこにあるでしょう？

- 1. 原宿自治会館
- 2. 城北自治会館
- 3. 向原自治会館

→解答は次のページ



活動レポート ◇ 「特別学習会」～みんなで語り合おう～



日時：令和4年8月6日（土）

- 1. 「地域の空襲体験」 話題提供者：樋口孝治
- 2. 「戦死者の墓」 話題提供者：宮崎紀美子

太平洋戦争末期、米軍による横浜や八王子などで激しい空襲が行われ、多くの空襲被害やその様子が記録に残されています。私たちが住む城山地域でも当時の空襲体験を記録する先人達がおり、貴重な体験談を数多く残してくれました。

当委員会では地域で収集された記録や特別に祀られた戦死者の墓について資料を集めて紹介し、参加者同士で話し合いました。当時を知らない世代が大多数になりましたが、現在、日本ではウクライナ戦争の惨さが連日報道されており、過去の日本で体験された先人達の貴重な体験を少しでも後代に語り継いでいければと思います。（塩谷 弘道）



◇ 「城山もみじ学級ガイド」

日時：令和4年10月26日（水）

素晴らしい青空の下、城山もみじ学級の「城山公民館周辺の歴史めぐり」のガイドを行いました。

鎌倉みち起点から温泉坂を下って大正寺へ。かんば坂を往復して最後は久保沢観音堂へ行き、百体観音を拝みながら管理されている村田さんから貴重なお話も聞くことができました。

短い時間でしたが城山の歴史を味わいました。（金子 直美）



◇ 「学びの収穫祭」：相模原市立博物館

日時：令和4年11/19（土）～11/20（日）

コロナ禍のため規模を縮小していた博物館の恒例行事「学びの収穫祭」。今回は昨年度令和3年10月3日（日）に行った城山エコミュージアムツアー「新・城山公民館周辺の史跡をめぐる」の結果を展示発表しました。



しりやまニ図鑑

「千両万両有り通し」

昔、日本人は正月に赤い実のなる植物の千両、万両と一緒にアカネ科のアリドオシを飾ったと言います。一年中、お金が有り通しとの願いを込めて語呂合わせで縁起を担いだのでしょうか。そこで、万両、千両、百両、十両、一両とお金に関わる名前で親しまれる赤い実の植物を紹介し、江戸時代、暮れの市では特にカラタチバナが百両金として人気があったようです。



千両（センリョウ）  
・センリョウ科  
・実が上向きにまとまる。



万両（マンリョウ）  
・ヤブコウジ科  
・実が下向きに多くつく。



一両（アリドオシ・蟻通し）  
・アカネ科・アリドオシ属  
・棘が鋭く蟻も刺し通すの意。



百両（カラタチバナ・唐橘）  
・ヤブコウジ科  
・実は下向きに少なめにつく。



十両（ヤブコウジ・藪柑子）  
・ヤブコウジ科  
・林内、藪に多く自生。

参考文献：  
・野草の名前（山溪社）  
・趣味の園芸（nhk出版HP）

（塩谷 弘道）